

広報たじみ **tajimist** 10

共につくる。まるごと元気!多治見

2021

No.2345



みつけたよ!
私だけの素敵。

第2期
10月1日(金) 25:55~
CBCテレビ他で放送開始

【今月の見どころ】 表紙 やくならマグカップも二番窯
P02~03 やくも第2期の魅力特集 P04~05 GIGAスクール構想
P06 新型コロナワクチン接種、コロナ対策9月補正
P07 地区懇談会を10月~11月に開催、庁舎だより
裏表紙 マイタウンホットニュース

○P09 ご意見募集~パブリック・コメント~
定例記者会見情報
○P18 夜間在宅当番医・休日急病診療
駅北庁舎休日開庁日

キャラ紹介

松瀬 理央



自称十子のライバル。好きなことにとても一途。時には勢いあまって突飛な行動をしてしまうことも。ポーカークフェイスが苦手。

声優 ^{あや} 内田彩さん

二番窯で松瀬理央役も担わせて頂く事になりました。ある日突然陶芸部を訪ねてくる彼女は、誰と、一体どんな関係があるのか…?原作でも気になる存在感を放っていた理央ちゃんを、よりパワフルに演じていけたらと思っています!

引き続き真土泥右衛門役でも次回予告を担当しますのでよろしくをお願いします!そして、でいえもの活躍はそこだけではないとか…!?どうぞお楽しみに!



キャラ紹介

ヒメナ・バルデス



はるばるメキシコからやってきた陶芸好きの女性。ある場所を探している際、姫乃達と出会う。多治見で陶芸に触れ、さらに陶芸に魅せられていく。好奇心旺盛で情熱的。

声優 ^{あまき} 天城サリーさん

陶芸が大好きな女の子を演じさせて頂くにあたって、アフレコ前に友達と実際に陶芸体験をしてきました!湯呑みを作ろうとしたのにうまくできなくてふにゃふにゃなオブジェができてしまったので、改めて陶芸がいかに繊細なアートなのか実感できました。

セリフを通して色んな陶芸のワードとかも学べたので、この作品を通して見てくださっている皆さんと陶芸の魅力をもっと知っていけたら嬉しいです!



「やくならマグカップも 二番窯」の最新情報は
アニメ公式ホームページをチェック!

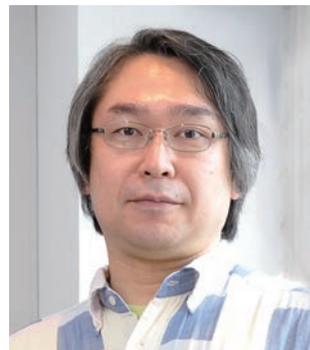
PV(プロモーションビデオ)も是非ご覧ください♪



シリーズ構成・脚本

荒川 稔久 ^{なる ひさ}さん

多治見の皆様にご感謝の二期決定です!姫乃の前に次々と個性的な新キャラが現れ、多治見の懐の深さやグローバルさを感じる中で、彼女はまた何かを作ります。それが何なのかも見どころの一つですが、その過程で深まっていく直子や三華、十子たちとの関係性もお見逃しなく。ほんわか、きゅんきゅんしていただけると幸いです!



やくならマグカップもとは？

TVアニメ「やくならマグカップも」は2010年に多治見市の有志や企業によって立ち上げられた「街を元気にしよう」というプロジェクトの一環として、地元IT企業の株式会社プラネットが2012

年より発行を開始したフリーコミック「やくならマグカップも」(2021年9月現在33巻まで発行)が原作。今作「やくならマグカップも 二番窯」は、今年の4月～6月まで放映された第1期に続くもの。



豊川 姫乃 役

声優 田中美海さん

2期決定、とっても嬉しかったです!こんなに早く姫乃たちと会えるとは思ってなかったので、驚きもありました。続きがあったらいいねとも話していたので、こうして実際に決まった時はみんなで喜びました。きっと皆さんも2期の発表に驚いたと思います!

姫乃は1期で初めて自分の作品を作り上げましたが、2期ではそれがどうなっていくのか、登場人物も増えてますます賑やかになる2期を楽しみに待っていてください!



やくならマグカップも第2期を記念して tajimist読者の皆さまへスペシャルプレゼント



抽選で3名様に「やくならマグカップも 二番窯」の声優寄せ書きサイン色紙をプレゼント!皆さまのご応募をおまちしております!

応募方法 はがきに住所、氏名、年齢、電話番号、やくならマグカップもへの応援メッセージを記入し以下宛先まで

※10月29日(金)必着 ※持参不可

宛先 〒507-8703 多治見市日ノ出町2-15

多治見市役所産業観光課

やくならマグカップも抽選係まで





音楽の授業では鍵盤として



保健体育の授業でもタブレットを活用



遠くの講師とのオンライン授業



タブレットに考えを書き込む活動

ギガスクール構想

～これからの社会で生きていく力を～

学校の授業が…

大型モニターに資料を映し説明する先生。コロナ禍だから楽器アプリで演奏する児童。自分の運動の様子を動画撮影してもらい、動きを確認する生徒。タブレットで自分の考えを書き込み、先生や仲間のタブレットに送って交流する学習。遠方の講師からモニターを通してリアルタイムで学ぶ…。国の「GIGAスクール構想」により、多治見市が配備した1人1台タブレットによって、子どもたちの学びが変わりつつあります。

多治見市では、「GIGAス

Interview

多治見市教育委員会
教育研究所長

久野智治さん



「今まではタブレットがなくても授業を行ってきたのに必要なの？」という思いをもつ方もみえると思います。学校の教育実践をすべてICTに変えるというものはありません。むしろ、ICTとのベストミックスによる

まずは挑戦！

「今まではタブレットがなくても授業を行ってきたのに必要なの？」という思いをもつ方もみえると思います。学校の教育実践をすべてICTに変えるというものはありません。むしろ、ICTとのベストミックスによる



オンライン登校日の様子



タブレットの持ち帰りについて指導

タブレット (iPad) 使用時のルール (抜粋) //

学校において、以下の事項を指導します。家庭でもお子さんと一緒に使う方の確認・見届けをお願いします

- 学習に関係ないことには使いません、登下校中は使用しません。
- 家庭におけるタブレットの使用は、貸与されている児童生徒および保護者に限ります。
- 他人の写真や動画、作品などを本人の許可なく撮影したり、ネットワーク上にあげたりしません。(肖像権・著作権)
- 他人の嫌がることや人を傷つけるような使い方はしません。
- 画面ロックのパスコードを人に教えません。
- iPadは次学年にもち上がって使い、卒業時に返却します。
- 家庭のWi-Fi等に接続して使用します。
- 有料サイトやオンラインショップ等への接続はできない設定になっています。
- ゲーム等を勝手にダウンロードすることはできません。



タブレットを使って仲間と交流



大型モニターを使って説明する教員



ツールとしてICTを利活用



インターネットを使った調べ学習



GIGAスクール活用推進プロジェクト会議

キガ GIGAスクール構想とは

2019年12月に文部科学省から発表されたプロジェクト。GIGAとは、Global and Innovation Gateway for Allの略で、小中学校児童生徒に1人1台パソコン(タブレット)と、学校に高速大容量の通信ネットワークを整備し、多様な子どもたち1人ひとりに個別最適化された創造性を育む教育を実現する構想。

アイシーティー ICTとは

インフォメーション アンド コミュニケーション テクノロジー Information and Communication Technologyの略で、情報通信技術のこと。コンピューター技術の活用に着目して使われる。

ソサイエティ Society5.0 超スマート社会とは

情報社会(Society4.0)に続く新たな社会のこと。社会の変革(イノベーション)を通じて、経済発展と社会的課題の解決を目指し、より質の高い生活を実現する社会。

家庭と協力して

多治見市では、後期から家庭へタブレットを持ち帰り、家庭学習に利用する方針を進めてきました。「先生がいなくてもちゃんと使えるの?」「危ないサイトに触れてしまうのでは?」「こうした不安の声も寄せられました。そんな中、「オンライン授業の実施」に向けた取り組みが、8月から新型コロナウイルスの感染拡大を受けて加速しました。学校では、機器の調整

で、多様な子どもたちに対応した授業や、子どもたち自ら学んでいけるような授業の推進につながるかと考えています。今、子どもたちが学校で身に付ける資質能力を育成するための「主体的対話的で深い学び」に、ICTは有効なツールと考えています。そのために、先生方には「まずは挑戦!使ってみる!」ことをお願いしています。先生方にとっても大きな転換でもあります。「Society5.0 超スマート社会」と言われる時代を生き抜いていく子どもたちのために、「こんな使い方ができた!」「こうした授業がわかりやすくなった!」と、先生方も学び続けています。

などを前倒しで行いました。「まずこのアプリを立ち上げて。先生の顔見えますか?」と、子どもたちが家でタブレットを開いていることを想定した持ち帰り指導も行いました。臨時休校などになった場合でも、子どもたちの「学びの保障」「心や生活の安定」のために、できる限りですがタブレットを有効に活用していきます。

市では、タブレットを貸与する際に約束を示しています。学校でも「情報モラル」指導を行っています。また、時々遠くを見ることを指導したり、夜中などは使用できない設定にするなど、健康面にも配慮しています。ぜひ小中学生のお子さんがいるご家庭では、お子さんがどのように使っていくとよいのか話し合ってください。「必要な情報を選択する」「ルールを守ってICT機器を使用する」など、自ら適切に活用する力を付けていけることを願っています。学校と家庭が連携し、これからの社会で生きていく力を育成するGIGAスクール構想の推進になるよう、ご協力をお願いいたします。